

一ディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(282)(HP 収載)

—モダン・ジャズ・カルテット—

1. 始めに

前報(281)に引き続き、STAGE+のモダン・ジャズ・カルテットの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のモダン・ジャズ・カルテットの演奏を選びました。

モダン・ジャズ・カルテットの芸術

ミュンヘン (1988年)

収録日: 1988年7月14日

ジョン・ルイスは、ジャズはもちろん、クラシックにも精通したピアニスト。「モダン・ジャズ・カルテット」の音楽監督も務め、その端正な演奏と音楽によって人々を魅了していました。本映像では同カルテットの公演の模様が収められています。各奏者の音色の美しさと技術の高さ、正確かつ躍動的なリズムが冴えわたります。クラシックの香りも随所にただよい、このカルテットだからこそ出せる響きは今もなお多くの人々の心を捉えて離しません。

ソリスト:

ジョン・ルイス (ピアノ)、ミルト・ジャクソン (ヴィブラフォン)、パーシー・ヒース (コントラバス)、コニー・ケイ (ドラム)

曲目:

ミルト・ジャクソン 《リユニオン・ブルース》

ミルト・ジャクソン 《マエストロ E.K.E.》

ビリー・ストレイホーン 《セピア・パノラマ》

デューク・エリントン, アーヴィング・ミルズ 《スイングしなけりや意味がない》

ジョン・ルイス 《誰も知らない》

ジョン・ルイス 《ドゥブルヴニクの一日》

ジョン・ルイス 《ジャンゴ》



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

さらに今回から、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続には OPT ISO BOX に代って適用した LAN iPurifier Pro の電源を iPower2 に交換しています。

今回は、PC の受信から GPS-777 クロック入力の SWD-DA20 に送り出しています。

モダン・ジャズ・カルテットは、ラストコンサートのアナログと CD くらいしか聴いたことがありませんので、STAGE+のライブ収録アーカイブの配信でどうかという興味がありました。

《スイングしなけりや意味がない》と《ジャンゴ》くらいしか知りませんでしたが、どの曲もクールでクリーンな演奏です。それぞれのパートがソロを務めるシーンでは個々の楽器の質感やベースの音階も明晰です。映像でプレイヤーの位置取りが確認でき、音の定位とも符合しています。機会を見てアナログと CD と聴き比べをしてみます。





4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用した結果、モダン・ジャズ・カルテットのクリーンなジャズの演奏が再現されました。

以上